

令和7年度 第3回 立川市自立支援協議会 会議概要

会議名称	第3回 立川市自立支援協議会
開催日時	令和8年2月18日(水) 16時30分～18時30分
開催場所	立川市役所 302会議室
次 第	<p>1. 開会</p> <p>2. 各専門部会からの報告〔当日資料1-①～④〕</p> <p>3. 全体会での協議検討内容</p> <p>(1) 第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画PDC Aサイクル評価・改善管理シートについて〔資料2〕</p> <p>(2) 地域課題の検討について〔資料3〕</p> <p>4. 全体会での報告内容等</p> <p>(1) 障害者施策推進委員会について〔資料4〕</p> <p>(2) 令和8年度自立支援協議会スケジュール(案)について〔資料5〕</p> <p>(3) 第8期障害福祉計画・第4期障害児福祉計画について〔資料6-①～⑤〕</p> <p>5. その他連絡事項</p>
出席者	<p>〔委員〕吉川委員、長谷川委員、須崎委員、鈴木徳子委員、飯田委員、遠藤委員、向山委員、本間委員、石田委員、横山委員、鈴木晶子委員、菊池委員、岩本委員、榎本委員、川崎委員、横平委員、水野委員、大谷委員、泉口委員、鉢嶺委員、小林委員 (敬称略、順不同)</p> <p>〔事務局〕仲沢障害福祉課長、片川障害福祉第一係長、井上障害福祉第二係長、鈴木障害福祉第三係長、遠藤障害福祉第四係長、安井障害福祉推進係長、向山主事</p> <p>〔立川市社会福祉協議会事務局〕岡部在宅支援事業課長、飯塚主任、関口主任、清水主事、平山主事</p>
欠席委員	石倉委員、木村委員、澤内委員
会議資料	<p>資料1-①～④ 各専門部会からの報告書</p> <p>資料2 第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画 PDC Aサイクル評価・改善管理シート</p> <p>資料3 令和7年度 立川市自立支援協議会全体会(11/21)グループワークでの意見まとめ</p> <p>資料4 令和7年度 第2回 立川市障害者施策推進委員会 会議概要</p> <p>資料5 令和8年度 立川市自立支援協議会全体会及び運営委員会議開催日程</p> <p>資料6-① 国の基本指針の見直し(案)(第8期障害福祉計画・第4期障害児福祉計画)</p> <p>資料6-② 立川市第8期障害福祉計画・第4期障害児福祉計画策定スケジュール(案)</p> <p>資料6-③ 立川市第8期障害福祉計画・第4期障害児福祉計画アンケート調査概要(案)</p> <p>資料6-④ 立川市第8期障害者福祉計画アンケート調査票(案)</p> <p>資料6-⑤ 第4期障害児福祉計画アンケート調査票(案)</p> <p>当日資料1-② 令和7年度 立川市自立支援協議会就労専門部会報告書</p> <p>当日資料1-③ 令和7年度 立川市自立支援協議会権利擁護部会報告書</p>

## 1. 開会

## 2. 各専門部会からの報告〔当日資料1－①、④、差替資料1－②、③〕

〔各専門部会からの報告〕

- ・各専門部会での議論内容、今後の予定等を報告。

### <相談支援>

〔質疑・意見等〕 特になし。

〔決定事項〕 報告のみ、異議なし。

### <就労>

〔質疑・意見等〕 特になし。

〔決定事項〕 報告のみ、異議なし。

### <権利擁護>

〔質疑・意見等〕 特になし。

〔決定事項〕 報告のみ、異議なし

### <児童>

〔質疑・意見等〕 特になし。

〔決定事項〕 報告のみ、異議なし。

## 3. 全体会での協議検討内容

### (1) 第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画P D C Aサイクル評価・改善管理シートについて〔資料2〕

〔事務局説明〕

- ・資料を用い、第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画P D C Aサイクル評価・改善管理シートについて説明した。

〔質疑・意見等〕

- ・特になし。

〔決定事項〕

- ・報告のみ、異議なし

### (2) 地域課題の検討について〔資料3〕

- ・前回協議会でのグループワークで出された地域課題に対してのアイデア出しをグループワークにて行った。

#### <1 グループ>

「人材確保」

まず、雇用そのものが難しい。人材の定着に関しては段階を踏んで研修を行っていくのが良いのではないか。また、移動支援等のヘルパー不足に関しては、市民に協力していただくなどのヘルパー以外の窓口も増やしていくことが良いと思う。

「8050」

この問題については、実際にその年齢になってから議論されるが、そこでは遅い。特別支援学校卒業後、50歳手前に当事者、その関係者へどういった生活を送りたいかを考えていく必要がある。年齢を重ねると障害も重くなり、考え方も変化する。親とお互いの意見のすり合わせも難しく、

若いうちから将来のプランをすり合わせていくことが重要。

## < 2 グループ >

「人材確保」

他市の事例を参考にする。

例：事業所ツアー面接会

事業所を何か所かまわり、実際の雰囲気を知る。また、参加者へのお土産として、その事業所で作成しているもの（クッキー等）があるとおもしろいのではないか。職員定着については「おもしろさ」があると定着につながるのではないかと思う。

地域課題に対する取組を部会として1から考えるのではなく、何か宿題として与えられると考えるやすい。

## < 3 グループ >

「人材確保」

職員定着については現場レベルだけではなく市としての働きかけが必要。現場での取組や事例共有の場を部会で行うのはどうか。例：取材してYouTubeで公開、現場でできる具体的な事  
離職について、なぜ辞めるのか、どうしたら続けられるのかを調査し対応していくことが大切。働き続ける環境を整えるためにデジタルデバイスの導入も考えられる。一方で職員の高齢化に伴い、デジタル化にすることでの負担感も生じている。

## < 4 グループ >

「人材確保」「8050」

人材確保そのものが大きな課題であり、そもそも福祉分野が他の産業に負け、福祉人材がいない。この課題については協議会だけでの取組では難しいため、人材の資質向上に焦点を当てた。人材は確保の先に定着があり、定着することが利用者支援につながる。また、定着の先に福祉職に魅力を感じるのではないか。

資質向上が8050問題にもつながるのではないかという意見も出された。

[決定事項] 部会での取組に向けた今後の方向性は委員長、副委員長で検討。

## 4. 全体会での報告内容等

### (1) 障害者施策推進委員会について〔資料4〕

[事務局説明]

- ・障害者施策推進委員会について説明した。

[質疑・意見等] 特になし。

[決定事項] 報告のみ、異議なし。

### (2) 令和8年度自立支援協議会スケジュール(案)について〔資料5〕

[事務局説明]

- ・スケジュール案について説明した。

[質疑・意見等] 特になし

[決定事項] 報告のみ、異議なし。

### (3) 第8期障害福祉計画・第4期障害児福祉計画について〔資料6―①～⑤〕

[事務局説明]

- ・第8期障害福祉計画・第4期障害児福祉計画について説明した。

[質疑・意見等]

- ・調査の対象者、障害の割合に意図はあるか  
⇒サービス利用者の実数から割合を算出している（R7.10月概算）  
身体400人、知的500人、精神400人となっているため、記載数値となった。
- ・5ページ目の質問について（暮らしや日常生活の支援について）  
知的障害の場合、親が記入することが多いが、不要/必要は何を基準にするのか。  
また、回答の際は一人暮らしを想定することが多いが答えにぶれが出てしまう。  
ブレがないような聞き方が必要かと思われる。
- ・アンケートはデジタルだと回答しやすいようなため、回収率を上げるのであればデジタルを検討しても良いのではないか。

[決定事項] 報告のみ、異議なし。

## 5. その他連絡事項

[事務局説明]

- ・来年度の予算について（口頭説明）
- ・GH家賃助成についての見直し（口頭説明）
- ・障害者の差別解消啓発事業、差別解消推進まちづくり事務について（口頭説明）
- ・lulu そのに周知
- ・日中支援型GHの新設について

昨年秋口から数件の新設の相談を受けている。

新規の開設希望者については全体会に参加、事業計画等の報告を行い、委員の意見を伺う方向とする。令和8年度7月の全体会に出席していただく予定。

[質疑・意見等]

- ・日中支援型GHについて  
評価軸はどのような想定になるか  
⇒検討中

[決定事項] 報告のみ。

閉会